【草花の部屋】

オニノゲシ（キク科ノゲシ属　Sonchus asper ）

和名：オニノゲシ（鬼野芥子）　別名：　英名：Prickly Sow-thistle

キク目　越年草　原産地：ヨーロッパ

花言葉：　毒舌　花色：黄

← 写真-１　オニノゲシ
撮影日：2018 年 4 月 21 日
撮影場所：カランバカ(ギリシャ)にて
撮影者：M　さん

↓ 写真-２　オニノゲシの花
撮影日：2018 年 4 月 21 日
撮影場所:カランバカ(ギリシャ)にて
撮影者：M　さん

← 写真-３　オニノゲシの葉
撮影日：2018 年 4 月 21 日
撮影場所：カランバカ(ギリシャ)にて
撮影者：M　さん

← 写真-４　オニノゲシの茎と腺毛
撮影日：2018 年 4 月 21 日
撮影場所：カランバカ(ギリシャ)にて
撮影者：Ｍ　さん

ギリシャ北西部・セサリア地方の奇岩群とその上に建設されたメテオラ修道院群を訪れた際、宿泊したカランバカ近郊の道路脇で見かけました。

オニノゲシはヨーロッパ原産で明治期に渡来した帰化植物だそうです。越年性の一年草で日本では各地の道端や畑で見かけることができ、春～晩秋に、タンポポのような黄色で舌状花のみからなる花を咲かせます。

茎は太くて中空です。葉色は濃い緑で光沢があり、葉の鋸歯の先端は棘になっており、触れると痛いのが特徴の一つです。葉には根出葉と茎葉があり、根出葉は長楕円形で羽状に切れ込みます。

ノゲシに似て、硬くて痛い鋸歯を持っていることから、オニノゲシと呼ばれているそうです。このため、ノゲシとは葉が軟弱で刺を触っても痛くないことで区別できるそうです。